

群馬大学数理データ科学教育研究センター 教員公募

1. 職 名 教授
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 数理データ科学教育研究センター レギュラトリーサイエンスユニット
4. 業務内容 研 究
疫学研究, 安全衛生技術の開発, データサイエンス
教 育
・大学院・学部学生に対する教育・研究指導
・担当授業科目
(大学院) データ科学, レギュラトリーサイエンスに関する講義及び PBL を担当して
いただきます。
(教養教育) 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシーレベル及び
応用基礎レベル) に関する講義及び演習を担当していただきます。
管理運営・社会貢献
・データ利用倫理審査委員会に関する業務
・社会人向けデータサイエンス教育に関する業務
・群馬県内の企業・大学・高校との産学官連携強化に関する業務
・数理データ科学教育研究センターの管理運営に関する業務
5. 勤 務 地 前橋市昭和町 3-3 9-1 5 昭和キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 6 年 4 月 1 日 (以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類: ライフサイエンス, レギュラトリーサイエンス
9. 任 期 令和 15 年 3 月 31 日まで。本教員公募は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構
の「大学・高専機能強化支援事業」の採択を受け、高度情報専門人材の確保に向けた
機能強化を図る観点から実施するものであり、任期は、当該事業の支援期間 (令和 14
年度末まで) となります。
なお、当該事業の支援期間終了後、任期を更新する可能性があります。
定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たしていることが望ましい
- (1) 博士の学位を有する方
 - (2) レギュラトリーサイエンスに関する研究・教育について熱意を持ち積極的に全学的なレギュラトリーサイエンス教育に参画できる方
 - (3) 学内外での共同研究に積極的に参加できる方
 - (4) 群馬県内の企業・大学・高校との産学官連携強化に関する活動に積極的に参画できる方
11. 給 与 年俸制適用 退職手当なし（退職手当相当額を業績給に含みます）
本学教職員就業規則及び年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
教職員就業規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
年俸制適用教員給与規則
https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022080.pdf
12. 就業時間 8：30～17：15を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
（1日7時間45分働いたものとみなす）
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日）
年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙
17. 応募締切 令和5年12月15日（金）17時（必着）
18. 提出書類 (1) 教員個人調書（本学所定様式）（別途写真をご送付ください。）
(2) 教育研究業績書（本学所定様式）
(3) これまでの科学研究費補助金等の受給状況（本学所定様式）
(4) 研究業績概要（A4判用紙2枚程度）
(5) 今後の教育および研究に対する抱負（A4判用紙2枚程度）
(6) 応募者本人の連絡先（電話番号、メールアドレス）

19. 書類送付先 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地

群馬大学研究推進部産学連携推進課 副課長 六本木

簡易書留にて「数理データ科学教育研究センター・教授（レギュラトリーサイエンス）・応募書類」と朱書きのうえ、上記宛てに郵送をお願いします。

応募書類の電子データ（PDF）をUSBメモリに入れて、簡易書留またはそれに準ずる方法にて送付してください。

なお、提出書類は原則として返却いたしません。

20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接、必要に応じてプレゼンテーションや模擬授業を実施

面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学研究推進部産学連携推進課 副課長 六本木

TEL : 027-220-7633

E-mail : KK-Sangakurenkei4[at]jimu.gunma-u.ac.jp

（[at]は@に置き換えてください。）

22. その他

（1） 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。

（2） 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績（研究業績、教育業績、社会的貢献等）及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。

なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。

（リンク先：https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/）

（3） 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。